

【9】講師・講題のご紹介

① <<柴田泰山(しばたたいせん)先生>>

講題：法然上人の生涯②(浄土宗立教開宗850年を迎えて)

【経歴】

1994年3月大正大学仏教学部仏教学科卒業、1999年大正大学大学院文学研究科博士課程修了。2004年大正大学にて博士(仏教学)を取得。大正大学特任准教授を経て、現在は大正大学非常勤講師、浄土宗総合研究所研究員、三康文化研究所研究員をつとめる。浄土宗福岡教区光善寺住職

【研究テーマ・専門分野等】

主な研究は、中国仏教および浄土宗学。専門は浄土三部経、善導教学、浄土宗伝法など。

【著書・共著、主な活動等】

◎著書

『善導教学の研究』(山喜房佛書林、2006年)
『善導教学の研究』第2巻(山喜房佛書林、2014年)
『善導教学の研究』第3巻(山喜房佛書林、2021年)
など多数。

◎論文

・『「選択集」に見られる修辭的表現』
(『三康文化研究所年報』第53号 137頁~165頁 2022年5月)
・『「決答授手印疑問抄」訳注(三)』
(『記主禪師研究所紀要』第5号 33頁~55頁 2022年5月)
など多数

② <<藤戸ひろ子(ふじとひろこ)先生>>

講題：ともに伝え合えるアイヌ文化へ

【経歴】

2007年、大阪にて「ミナミナの会」(現在の「ミナミナ工房」)設立
「ミナミナ」とは、アイヌ語で互いに笑い合う、微笑み合うという意味を持ち参加型の伝え合うをテーマに場を作り活動している。

【研究テーマ・専門分野等】

先住民族アイヌ(アイヌ当事者)

【著書・共著、主な活動等】

◎主な活動

子どもたちにも「親しみやすく、わかりやすく、笑顔になれる」をテーマにアイヌ文化を伝え合いつづける。

- ・共著 『先住民族アイヌを学ぶ—藤戸ひろ子さんに聞いてみた』
(日本機関紙出版センター)
- ・テレビ放送 STV創立65周年記念【KAKAR ~アイヌ文化を紡ぐ~】
(STV札幌テレビ放送)
- ・取材協力『伝え守る アイヌ三世代の物語』(少年写真新聞社)ほか

③ <<廣瀬卓爾(ひろせたくじ)先生>>

講題：『浄土宗戦時資料』が示唆する私たちの課題

【経歴】 大正大学専任講師、佛教大学社会学部教授、韓国東國大学校交換教授
浄土宗平和協会理事長 ほか

【研究テーマ・専門分野等】 犯罪社会学、社会病理学

【主な論述・発表】

『社会病理学と臨床社会学 —臨床と社会学的研究のブリッジング—』
『少年非行防止政策研究・日韓比較』
『日本の少年非行 —現況と課題—』 OSEAL FORMU
『浄土宗海外開教のあゆみ』
『近現代における日本仏教の海外布教研究』
『近現代韓日佛教の関係 今後の課題』

浄土宗大阪教区教務所 普通講習会事務局

〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪1-3-19

TEL06-6771-7784・FAX06-6771-2163